



平成23年11月22日

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 山下史朗
(コード番号 4047 東証第1部)
問合せ先 人事総務部専任部長 徳升聡司
(TEL. 03 - 3216 - 4561)

平成24年3月期 第2四半期決算説明会資料

当社では、本日11月22日、アナリスト向けに平成24年3月期 第2四半期決算説明会を開催いたします。

平成24年3月期 第2四半期決算の概要、今後の業績見通しについて説明いたしますが、その資料を添付いたします。

以 上

平成24年3月期
第2四半期決算説明会

 関東電化工業株式会社
平成23年11月22日

1

説明内容

1. H24/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

※増減率を除き、表示単位未満は切り捨てて表示

事業セグメント

名 称		内 容
基礎化学 品事業	無機製品	か性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、塩化アルミニウム等
	有機製品	トリクロールエチレン、パークロールエチレン、塩化ビニリデン、シクロヘキサノン等
精密化学 品事業	フッ素系 製品	六フッ化硫黄、四フッ化炭素、三フッ化メタン、六フッ化エタン、三フッ化窒素、ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエン、八フッ化プロパン、六フッ化タンゲストン、四フッ化ケイ素、三フッ化塩素、八フッ化シクロブタン、五フッ化ヨウ素、モノフルオロメタン、フッ化カルボニル、硫化カルボニル、六フッ化リン酸リチウム、フルオロエチレンカーボネート、排ガス処理装置(エフトール)等
鉄系事業	鉄系製品	キャリアー、マグネタイト、顔料、鉄酸化物等
商事事業	関電興産(株)	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店業務等
設備事業	(株)上備製作所	工場プラント建設、工場設備保全工事等

関東電化工業株式会社

3

関東電化グループ(連結子会社)

(単位:百万円)

	資本金	出資 比率%	H23/9末 個別売上高	対前期 増減	主要な事業内容
関電興産(株)	10	100.0	3,124	115	化学工業薬品の販売および容器整備、保険代理店
(株)上備製作所	120	49.4	1,953	271	化学工業用設備の製作・加工・修理
森下弁柄工業(株)	27	52.9	416	4	鉄酸化物の製造販売
関東電化KOREA (株)	2 億ウオン	90.0	2,555	99	フッ素系製品の販売
台湾関東電化股份 有限公司	7 百万NTドル	100.0	870	△5	フッ素系製品の販売

合計	8,920	485
----	-------	-----

関東電化工業株式会社

4

連結決算のポイント

(単位:億円)

	H22/9	H23/9	差額
売上高	201	179	△22
営業利益	18	5	△13
第2Q純利益	6	1	△5

(1) 売上高減少(△22億円)

- ・基礎化学品事業部門は、一部製品の撤退等により減収(△4億円)
- ・精密化学品事業部門は、販売数量減少や販売価格低下により減収(△17億円)
- ・鉄系・商事事業部門は減収、設備事業部門は増収(△0億円)

(2) 営業利益減少(△13億円)

- ・基礎化学品事業部門は、売上高の減少により減益(△1億円)
- ・精密化学品事業部門は、売上高の減少により減益(△13億円)
- ・鉄系・商事・設備事業部門は、売上高の増加や販売構成差により増益(+1億円)

関東電化工業株式会社

5

基礎化学品事業部門

(単位:億円)

	H22/9	H23/9	差額
売上高	39	34	△4
営業利益	2.7	0.7	△1.9

- ・売上高は、シクロヘキサンの撤退やシクロヘキサノンの販売縮小、硫酸薬傷事故の影響による販売数量の減少等により、前年同期に比べ減収となった。
- ・営業利益は、売上高の減少等により、前年同期に比べ減益となった。

関東電化工業株式会社

6

精密化学品事業部門

(単位:億円)

	H22/9	H23/9	差額
売上高	128	110	△17
営業利益	13	0.6	△13

- ・三フッ化窒素は、需要の減少により、前年同期に比べ減収となった。
- ・六フッ化タングステンには、販売数量が増加したものの、販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となった。
- ・四フッ化炭素は、価格修正効果により、前年同期に比べ増収となった。
- ・電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量が増加したものの、販売価格が低下し、前年同期に比べ減収となった。フルオロエチレンカーボネートは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となった。
- ・営業利益は、売上高の減少により、前年同期に比べ減益となった。

関東電化工業株式会社

7

鉄系・商事・設備事業部門

(単位:億円)

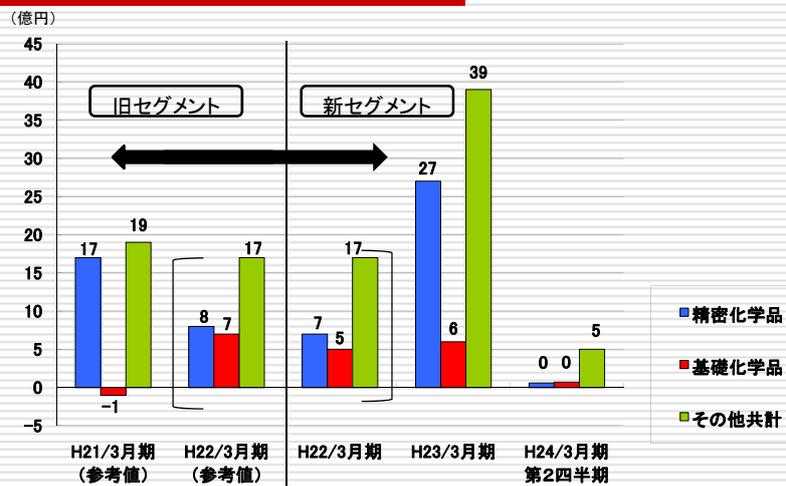
	H22/9	H23/9	差額
売上高	33	33	△0.1
営業利益	1.9	3.8	1.8

- ・鉄系事業は、キャリアーの販売数量が減少したものの、コストダウンにより、前年同期に比べ減収増益となった。
- ・商事事業は、連結子会社である関電興産における化学工業薬品販売が減少したものの、容器整備の増加により、前年同期に比べ減収増益となった。
- ・設備事業は、連結子会社である上備製作所における請負工事の増加により、前年同期に比べ増収増益となった。

関東電化工業株式会社

8

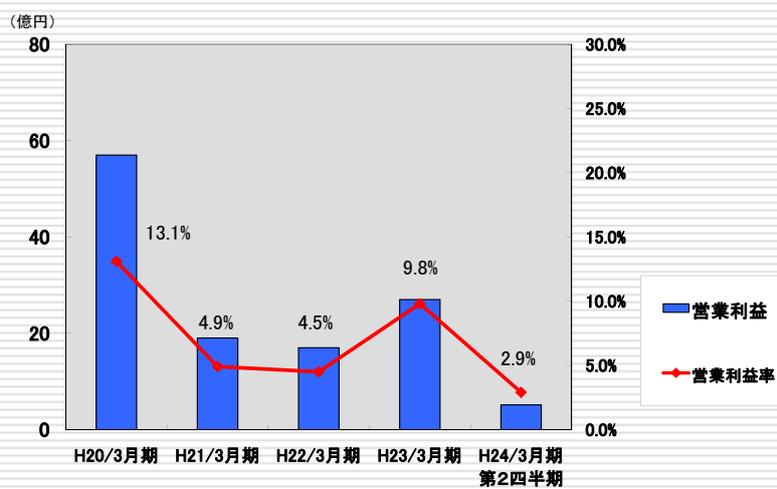
セグメント別営業利益の推移(連結)



関東電化工業株式会社

9

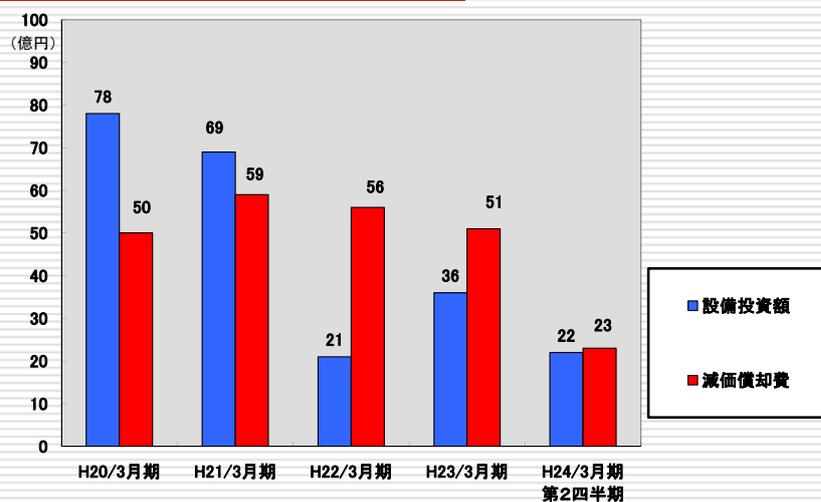
営業利益と営業利益率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

10

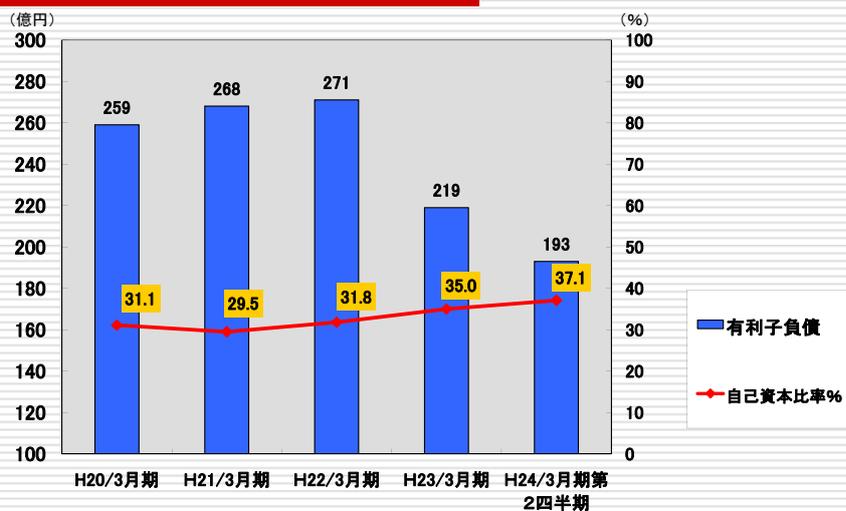
設備投資・減価償却費の推移(連結)



関東電化工業株式会社

11

有利子負債・自己資本比率の推移(連結)



関東電化工業株式会社

12

説明内容

1. H24/3月期 第2四半期決算の概要
2. 業績の見通し・今後の動向

セグメント別業績予想(連結)

(単位: 億円)

	売上高			営業利益		
	H23/3 実績	H24/3 当初見込	今回修正	H23/3 実績	H24/3 当初見込	今回修正
基礎	78	76	77	6	8	5
精密	253	265	231	27	17	0
その他※	71	74	72	5	5	6
合計	403	415	380	39	30	11
設備投資	36	73	73	※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。 ※為替レート見込: 80円/\$		
減価償却	51	53	53			
研究開発費	11	12	12			

セグメント別業績予想(連結) 上期下期比較

(単位:億円)

	H24/3売上高			H24/3営業利益		
	上期実績	下期見込	差額	上期実績	下期見込	差額
基礎	34	42	7	0.7	4	3
精密	110	120	9	0.6	△0	△1
その他※	33	38	4	3	2	△1
合計	179	200	21	5	5	0

設備投資	22	50	27
減価償却	23	29	6
研究開発費	5	6	1

※その他は、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

15

セグメント別業績予想(連結) 当初予想との差

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	上期実績 差額	下期見 込差額	通期見 込差額	上期実績 差額	下期見 込差額	通期見 込差額
基礎	△1	2	1	△2	△0	△3
精密	△14	△19	△34	△3	△13	△17
その他※	△0	△1	△2	1	△0	1
合計	△15	△19	△35	△3	△15	△19

※その他には、鉄系事業、商事事業、設備事業および連結調整を含みます。

関東電化工業株式会社

16

設備投資の状況・今後の計画

□半導体・液晶用特殊ガス

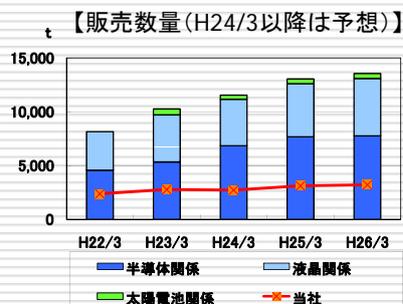
- ① 三フッ化窒素能力増強 (H23.1: 2,700t→3,000t/年)
- ② 三フッ化窒素能力増強 (H24.2: 3,000t→3,500t/年)
- ③ 四フッ化炭素能力増強 (H24.5: 1,000t→1,100t/年)

□電池材料

- ① 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H23.5: 1,300t→2,000t/年)
- ② 六フッ化リン酸リチウム設備増強 (H24.3: 2,000t→3,000t/年)

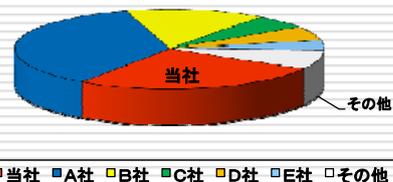
—主な製品の見通し— 三フッ化窒素 (NF3)

- 半導体・液晶製造プラズマCVD装置のチャンバークリーニングガス。
- 今後の半導体・液晶の生産量増加に伴い、三フッ化窒素の需要は増加する。また、太陽電池向けの需要も期待される。
- 需要増加に対応するため、製造能力を H24年2月に3,500t/年にアップ。



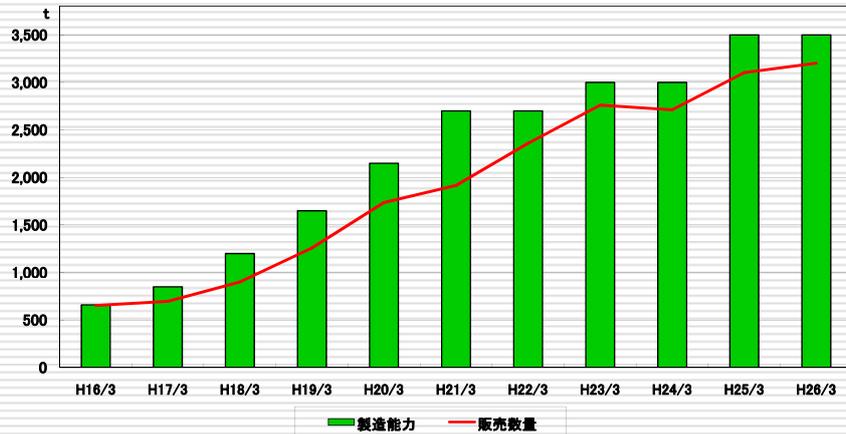
【現在のシェア予想】

当社シェアは約30%



—主な製品の見通し— 三フッ化窒素(NF3)

□ 【生産能力と販売数量の推移(H24/3以降は予想)】



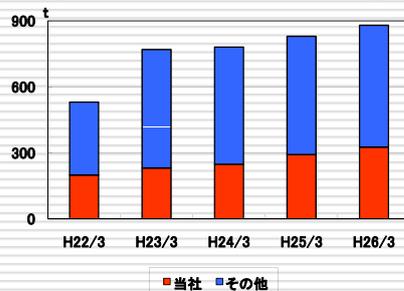
関東電化工業株式会社

19

—主な製品の見通し— 六フッ化タングステン(WF6)

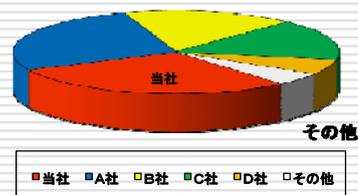
- 半導体用配線材料ガス。
- 半導体の生産量に伴い、需要は増加する見込み。
- H20年3月に製造能力を300t/年に増強した。

【販売数量(H24/3以降は予想)】



【現在のシェア予想】

当社シェアは約3分の1



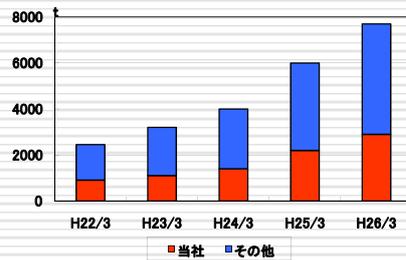
関東電化工業株式会社

20

—主な製品の見通し—六フッ化リン酸リチウム (LiPF₆)

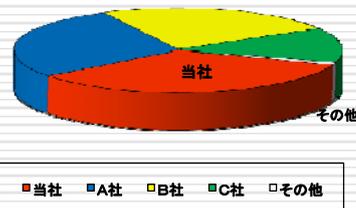
- リチウムイオン二次電池の材料である電解質。
- 携帯電話・ノートPC向け以外の用途先にも需要が拡大している。
- 今後、EV等の車載向けや大型蓄電池向けの需要が期待される。
- H23年5月に製造能力を2,000t/年に増強した。
- さらに、H24年3月に製造能力を3,000t/年に増強予定。

【販売数量 (H24/3以降は予想)】



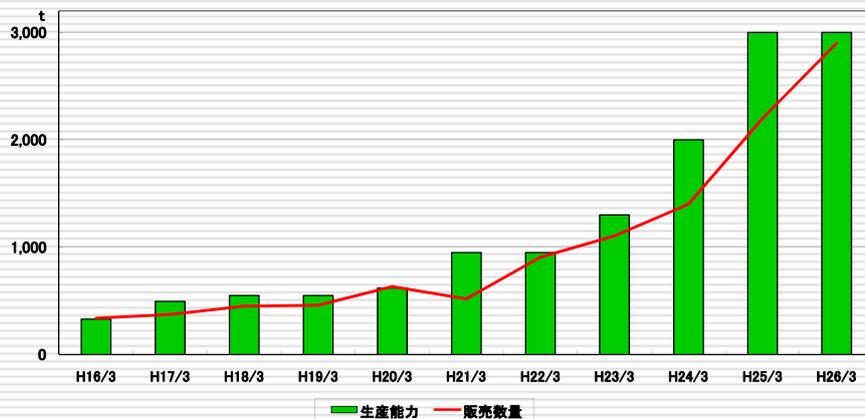
【現在のシェア予想】

当社シェアは約30%



主な製品の見通し—六フッ化リン酸リチウム (LiPF₆)

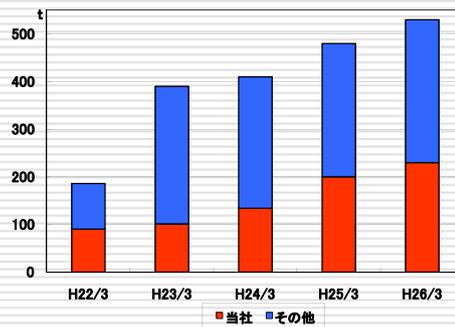
□ 【生産能力と販売数量の推移 (H24/3以降は予想)】



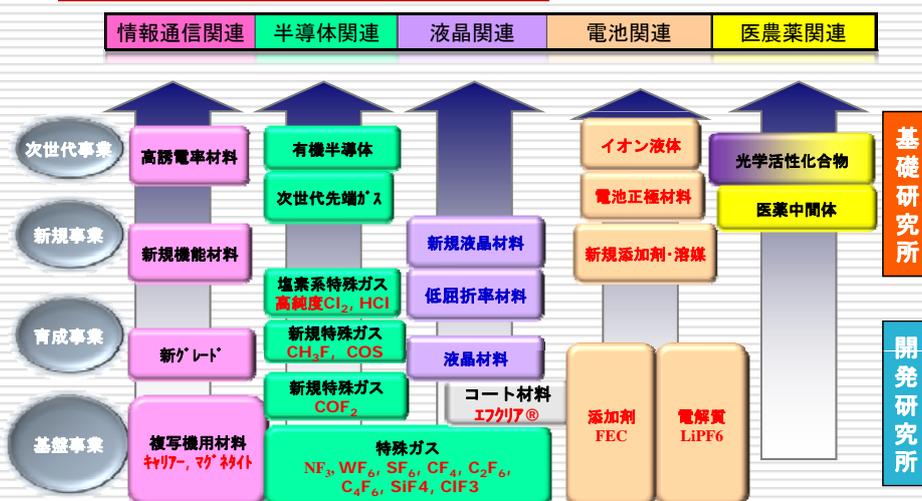
ー主な製品の見通しー FEC(フルオロエチレンカーボネート)

- リチウムイオン二次電池の電解液の添加剤。
- 性能:リチウムイオン二次電池の長寿命化・低温特性の向上。
- H22年5月に製造能力を250t/年に増強した。

【販売数量(H24/3以降は予想)】



当社の目指す事業方向



新規製品開発

- 「ホウフッ化リチウム(LiBF₄)」LiB用新規電解質
- 半導体用次世代先端ガス
- 電池材料(添加剤、イオン液体)
- 有機半導体材料、新規液晶材料、医農薬中間体
- 新規機能材料
- 10年後を見据えたコア技術の開発。



環境変化に適応できる創造的開発型企业へ

25

海外拠点の新設

□ 中国現地法人の設立

中期経営計画に従い、中国(上海)にフッ素系製品等の販売および輸出入を行う販売子会社を設立した。

- ①商号 科地克(上海)貿易有限公司
- ②所在地 上海市長寧区婁山関路85号
- ③設立年月日 平成23年6月14日
- ④出資比率 当社100%
- ⑤主な事業内容 フッ素系製品等の販売および輸出入

注意事項

- 本資料は、金融商品取引法等のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なります。